



2011年7月4日

ボーイングと ANA、日本で 787 の検証プログラム (SROV) を開始

ボーイングと ANA は本日、ボーイング 787 の検証プログラム (SROV : Service Ready Operational Validation) を開始しました。

当検証プログラム中、ANA のパイロットはボーイングのパイロットと共に、実際の運航環境下での実飛行を実施します。また、ANA の整備士、地上スタッフも実機を活用した検証作業を行います。

787 はこの検証プログラムのために初めてアジアに飛来、昨日 7 月 3 日、日本時間の午前 6 時 21 分、数多くの報道陣と航空ファンが見守る中、羽田空港に着陸し、同機から降り立つ ANA の石井正之機長、塚本真己機長、およびボーイング パイロットのマイク・キャリカー、ヘザー・ロス、テッド・グレイディを出迎えました。なお、飛来したのは ANA の通常塗装を施した 787 のフライトテスト用 2 号機 (ZA002) で、シアトルから羽田までノンストップで飛行しました。

ANA の代表取締役社長、伊東信一郎は、「787 を世界に先駆けて運航することを非常に嬉しく思います。787 は、当社がアジアで 1 番の航空会社に成長するためには必要不可欠な要素であり、お客様にも機内の快適性など、新たな次元のサービスを提供することを可能にしてくれます。今回の検証プログラムは、定期便就航を円滑に行うための非常に重要なステップとなります。」と述べています。

ボーイング民間航空機部門の社長兼 CEO、ジム・オルポーは、「787 のローンチカスタマーである ANA や、この最新型機の製造に携わっていただいている数多くのパートナーの本拠地である日本への初飛来を心よりお喜びします。ANA は、素晴らしい航空会社であり、彼らのご意見やご協力があったからこそ 787 型機がここまで素晴らしい航空機になりました。」と述べています。

1 週間にわたるこの検証プログラムでは、日々の運航環境に近づけて実施、メンテナンスや地上での作業を羽田、伊丹、関西、岡山、広島各空港で行います。プログラム終了後、ANA は 787 の定期便としての初就航路線を、羽田 = 岡山、広島とする予定です。

ANA は、787 を 55 機発注しており、今後の成長戦略の一環として同機を国内・国際の基幹路線に投入してまいります。なお、ボーイングは、787 初号機の ANA のデリバリーを 8 月～9 月に予定しています。

この件に関するお問い合わせ先

ANA 広報室 (TEL: 03-6735-1111 / FAX: 03-6735-1115)

ボーイング ジャパン

ロブ ヘンダーソン (TEL: 03-5223-1234 / 携帯電話: 090-1420-9662 / FAX: 03-5223-1900)

高橋 美都子 (TEL: 03-5223-2025 / 携帯電話 080-2070-1393 / FAX: 03-5223-1900)

- 広報代行 - ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社

黒木 (TEL: 03-4520-5800 / FAX: 03-4520-5801)